

赤い巨塔／目次

(序にかえて) 学術会議第56回総会の意味するもの……………1

第一部 赤い巨塔 (実態報告)

8

1 学術会議の誕生と病根

吉田元首相の学術会議民間移管論……………	15
左傾化の原点―「民科」の結成……………	19
学術会議の誕生……………	24
学者選挙と諮問に弊害生ず……………	28
科学の論理と政治の論理……………	34

2 「学者の国会」を牛耳る日共科学技术部

日共が狙うもの……………	39
民科の第二戦線・日本科学者会議……………	47
地学団体研究会と青年法律家協会……………	51

3 学術会議の左翼学者銘々伝

第一部―「悪名」高き井上清氏ほか……………	60
第二部―「影の最高裁人事局」潮見俊隆氏ほか……………	62
第三部―圧倒的なマルクス経済学者……………	66
第四部―素粒子論グループの大御所・坂田昌一氏ほか……………	67
第五部―共産党の泣きどころ・工学部……………	69
第六部―裏の実権者・福島要一氏ほか……………	69
第七部―左傾化のブレイキ役・医学部……………	71

4 反体制のあだ花

目次

“良心の灯” 学問思想の自由委の欺まん性	74
感覚のズレをバクロした大学特委	79
佐世保港・異常放射能のミステリイ	83

5 左翼の牙城への挑戦

素粒子研究所問題にゆらぐ学術会議	90
科学研究費配分にメスを入れる	101

第二部 学術会議は有害無益か (座談会)

1 日共・大石内蔵之助説の周辺

“敵の武器で戦え”	109
教学権・管理権の奪取	112
学内権力闘争に喰い込む日共	116
よど号乗客の心理と大学教師	117

左翼学生処罰権の放棄	124
------------	-----

2 赤狩り旋風の裏返えし

京大物理学研究所の怪事件	127
日共に乗っ取られた日本物理学会	130
左翼病原菌への抵抗力が弱い	133
「まじわりによる罪」で追放	135

3 学術会議の建直しは可能か

保身のための進歩的ポーズ	140
学術会議の平和声明に“右へならえ”	143
組織なき良識派	146
戦う姿勢が先決	151
もう一つの学術会議が必要か	155

第三部 学術会議をこう見る

学術会議は解散すべし	大石義雄	161
フラク会議に招かれて	大島康正	164
選出方法に重大な欠陥あり	尾上正男	167
国費で圧力団体を養成するな	小森義峯	170
二者択一を迫られる学術会議	田上穰治	173
なぜ学術会議は知られないか	経塚作太郎	176
黙視できない「第二文部省」の偏向	三濑信吾	179
謀議でつくられる「学者の総意」	三輪和雄	182

(関係資料)

総理府設置法(抄)	186
日本学術会議法	187
学術会議会則	198
日本日本学術会議各種反対声明	201
日本学術会議会員名簿	205
あとがき	212